

到着後の培養細胞の取り扱いについて
リソース名 ミナトカモジグサ Bd21 形質転換用カルス

- 容器及び個数
カルス 25 個を誘導培地上に置床したプレート

- 到着後の取り扱い

1. 以下の要領で継代してください。

- 1.1. 輸送中に培地が崩れる等のストレスを軽減するため通常より固めのカルス誘導培地 2 (0.4% Phytigel) に移植してあります。培地が乾燥してカルスが褐変するのを避けるため、到着後はできるだけ速やかに (5 日後以内に) 新鮮なカルス誘導培地 2 (0.3% Phytigel) へ継代して下さい。
- 1.2. 継代は、直径 9 cm の丸形シャーレ 1 枚 (25 mL 固形培地) に 2 mm 程度のカルス塊 21~25 個を移植するのが適切です (写真 1)。
- 1.3. 25 個のカルス (シャーレ 1 枚分) を 27°C・暗所で培養すると、次の継代時 (10 日後) には、2 mm 程度のカルス塊として 50~100 個に相当する細胞量まで増殖します (写真 2)。
- 1.4. 継代により細胞の維持と増殖が可能ですが、再分化能は低下します (図 1)。到着後より継代 3 回目以内を使用することをお勧めします。

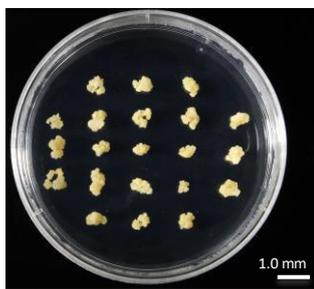
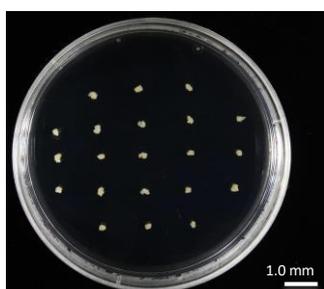


写真 1 継代直後のカルス

写真 2 培養 10 日後のカルス
(暗所、27°C)

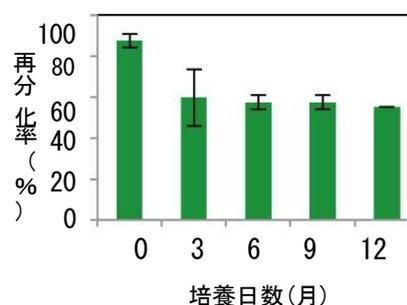


図 1 未熟胚から誘導したカルスの再分化率の変化

2. 環境によって継代間隔、移植量などは多少変わってきます。細胞の様子を観察しながら適宜調節してください。
3. 詳細な培養条件は以下のページを参考にしてください。
http://epd.brc.riken.jp/ja/manual/brachypodium_distachyon_howto
4. 受領時に異常が認められた場合は直ちにご連絡ください。

理化学研究所バイオリソース研究センター
実験植物開発室 提供係
(ご質問・ご相談窓口)
TEL: 029-836-9067
E-mail: plant.brc@riken.jp